

茨城県内市町村が実施する洪水からの避難訓練について

市町村名	土浦市
訓練名称	土浦市総合防災訓練兼洪水ハザード内住民避難訓練
訓練実施日時	令和5年11月18日(土) 8時～11時
訓練実施場所	土浦市消防本部 講堂・屋外訓練場
実施した訓練の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・11月初旬からの長雨が継続している最中、線状降水帯が接近してきており、今後東日本にもこれまでにない災害級の降水量をもたらす各種被害の発生が予測される状況を想定し、地域防災計画に基づく災害対策本部の設置及び洪水ハザード内住民の避難訓練を実施した。 ・住民は防災行政無線での放送により、訓練会場となる土浦市消防本部をそれぞれの地区の仮避難所として、災害時に担当となる市直行職員が地区ごとに避難者の受付を行った。避難後は、避難所運営訓練、防災倉庫備蓄機器取扱い訓練、初期消火訓練、濃煙迷路体験や関係機関による展示ブースの見学・体験などを行った。 ・災害対策本部設置訓練では、気象状況の変化、災害発生に伴う災害対策本部の設置、状況認識の共有と併せた避難情報の発令、避難所の開設等、災害事案を順次想定付与し検討した。 ・防災行政無線やホームページ、SNSを活用して災害避難情報を発信し、各地区代表者との情報伝達訓練や、市保健福祉部と社会福祉協議会の連携により避難要支援者の安否確認、避難誘導、福祉避難所の設置・運営について関係部局職員による机上訓練を実施した。
参加者数	約250名(住民・自主防災組織約100名、市職員・関係機関等約150名) 情報伝達訓練(70地区)
写真	